

事業所名

社会福祉法人 北信福祉会  
あづま児童発達支援センター「宙ーそら」

支援プログラム

作成日

2024年

12月

6日

法人（事業所）理念		『一人ひとりの個性、人格を大切に、共に生きる喜びをわかちあいます』			
支援方針		①主にTEACCHプログラムの手法を取り入れながら、一人ひとりの子どもの特性を理解して、得意な分野を活かしながら成長できるよう支援する ②日常生活における基本的な生活スキルを習得し集団生活などの環境に適応することができるよう、それぞれの特性に合わせて適切な支援を行う			
営業時間		8時30分から	17時30分まで	送迎実施の有無	あり (なし)
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○子どもが健康的で安全な生活が送れるように支援を行う ・子どもの心身の健康を育てる（内科検診、身体測定） ・身辺自立ができるよう手順書等を活用しながら視覚化して環境を整える ・遊びや日常的な活動の中で基本的な生活スキルを身につける			
	運動・感覚	○身体を使った活動や感覚の発達について支援を行う ・感覚の過敏さや感覚鈍麻を理解し、安心して過ごせる環境設定を行う ○体の動かし方、指先の強化を図る ・サッカー教室やサーキットトレーニングなど身体を動かす、身体のバランスを養うプログラムを設定する			
	認知・行動	○認知の特性について理解し、一人ひとりに合った支援を行う ・分かるできるの経験を積み重ね適切な行動ができるよう支援を行う ・場所・時間の流れ・活動の内容を視覚的に見て分かるようにして、見通しを持って安心して自立的に行動できるように環境を整える			
	言語 コミュニケーション	○言語の発達とコミュニケーション能力を高める ・絵カードやジェスチャー等を用いて本人が伝えやすい手段を探していく ・他者に自己の意志を伝える練習をし、伝わった時の喜びを味わう ・言語を用いて自分の意図を伝えたり、他者の意図を理解する力を育むために視覚的支援を行う			
	人間関係 社会性	○人とかかわりや集団の中での社会的ルールを身につける ・遊びや活動を通して、友達との信頼関係を築く ・社会性を身に付けるために順番やルールを視覚化して伝える ・集団参加において感情のコントロールなど、社会生活に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を視覚的に支援する			
家族支援	・連絡帳や送迎時の保護者とのやり取りを通して家庭の様子、困りごとなどを聞く ・必要に応じて生活等の支援について家庭と情報共有を行う ・モニター視聴を活用し実際の子どもの様子を見ながら担任から話を聞く ・フィードバックで療育での成長の様子をお伝えし家庭での様子を聞き、子どもの様子を共有する ・関係機関との連携による家庭の支援を行う ・きょうだいへの相談援助等の支援を行う	移行支援	・保育所等への集団への参加を目指し集団生活に必要な支援・助言を行う ・保育所等との併用利用や移行に向けた支援を行う ・将来的なライフステージの形成に向けた準備を行う		
地域支援	・在籍する保育園等と情報を共有する ・子育て支援機関、医療、教育機関との連携を図る	職員の質の向上	・救命救急講習会（心肺蘇生・AED・軌道異物除去法等） ・虐待・身体拘束防止委員会、権利擁護研修会 ・BCP（感染症・災害）研修 ・安全計画 ・法人の内部研修 ・専門的知識習得のための外部の事例研修 ・各委員会設置（部会）		
地域連携	・隣接する保育園との交流会（夏まつり、お買い物ごっこ、園庭遊び等） ・駐在所・消防署立ち合い避難訓練 ・サッカー教室 ・地域の方との農業体験（さつまいも苗植え、さつまいも掘り、大根の収穫）				
主な行事等	行事	・キッズサッカー ・親子遠足（親子サッカー） ・芋苗植え ・プール遊び ・夏まつり ・いもほり ・ハロウィン ・クリスマス会 ・修了式			
	クッキング体験	・フルーチェ作り ・かき氷作り ・焼き芋会			
	避難訓練	・毎月実施（・火災・地震・水害・不審者対策・総合訓練等） ・消火器訓練 ・避難場所への移動訓練、引き渡し訓練			